

備前市事務事業評価シート

(平成20年度事業)

事業の概要			
事業開始年度 昭57年～			
総合計画	大項目	基本目標	01 安全で快適に暮らせるまちづくり
	中項目	基本施策	01 生活しやすいまちづくり
	小項目	施策	10 下水道
事務事業名			09 排水設備検査事務
根拠法令・規程等		下水道法 備前市公共下水道条例	
担当課(室)		下水道課	
職・氏名		管理係長 藤森 亨	
電話		0869-66-9702	

事業の実施	
対象(誰・何に対して)	下水道、農業集落排水施設及び漁業集落排水施設並びに個別排水処理施設に接続して汚水を処理しようとする人。
目的(何のために)	適正な施工方法・維持管理方法の徹底により安心して使用できる排水設備とし、また、下水本管や処理場のトラブルを防ぎ施設の維持管理費の増加を防ぐ。
行政活動(どのような方法で)	排水設備工事中請書の施工方法等を書類により審査し、基準に適合の場合は工事許可書を発行。工事終了後、提出された排水設備完工書の書類と設置場所での現地検査を行う。現地検査後、使用者に排水設備の使用・維持管理方法を説明する。
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	適正な施工方法や維持管理方法の徹底により安心して使用できる排水設備とし、また、下水本管や処理場のトラブルを回避し維持管理費の増加を防ぐ。

事業の実績					
活動	実施項目	単位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績
	排水設備検査件数	件	318	246	205
	排水設備不適合件数	件	10	8	5
実績	直接事業費	千円	1.05人 6,600	0.45人 3,123	0.32人 2,018
	必要人員	人	1.05	0.45	0.32
業績	事業費	千円	6,600	3,123	2,018
	事業費計		6,600	3,123	2,018
財源	国・県・市・その他	千円			
	受入金				
受	受入金	千円			
	一般財源		6,600	3,123	2,018
受益者負担比率		%			

結果指標名		単位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績
結果指標①	排水設備検査件数	件	318	246	205
	対前年比	%	-	77.4%	83.3%
	活動コスト	円	6,600,000	3,123,000	2,018,000
	単位当たりコスト	円	20,755	12,695	9,844
結果指標②	排水設備不適合件数	件	10	8	5
	対前年比	%	-	80.0%	62.5%
	活動コスト	円	-	-	-
	単位当たりコスト	円	-	-	-

事業の成果					
成果指標名	年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	到達目標値
完工検査改修率	目標値(A)	0	0	0	0
	実績値(B)	10	8	5	到達目標年度
	達成率(B/A)				平成21年度
成果指標設定の考え方・式や説明					
設置基準不適合件数÷排水設備完工数×100					

事業の目的、対象、内容を考えながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		妥当性評価<A~E>	
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 類似した事業がある	判定理由・課題認識
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い <input type="checkbox"/> 説明	適正な施工方法や維持管理方法の徹底は排水設備を管理していくうえで必要なものであり目的は妥当である。
効率性の評価	コスト	<input checked="" type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input checked="" type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価<A~E> B 判定理由・課題認識
	目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input checked="" type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映させる仕組みがある <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプランづくりから市民参加を得る手段をとっている	有効性評価<A~E> B 判定理由・課題認識

平成21年度の状況	
目標値	結果指標量① 250
結果指標量②	0
成果指標量	
状況	拡充 <input type="checkbox"/> 現状継続 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 整理統合 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止・完了 <input type="checkbox"/>
説明	前年度と同様、適正な排水設備の施工方法と維持管理方法を徹底している。

総合評価	
今後も継続して、下水道協会岡山県支部と連携し責任技術者の技術レベルの向上と排水設備設置基準の周知を図る一方で、各接続者にも維持管理方法の周知を図っていく。	評価区分<A~E> B

平成22年度以降の方向性・内容									
方向性	拡充 <input type="checkbox"/> 現状継続 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 整理統合 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止・完了 <input type="checkbox"/>								
説明	適正な排水設備の施工方法と維持管理方法を徹底していく。								
改善がある場合	<table border="1"> <tr> <th>評価の視点</th> <th>改善内容</th> <th>改善時期</th> <th>改善により期待される効果</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果				
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果						